

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 2. 24

下水道機構の『新技術情報』 第130号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

なんとなく春の薫りがしませんか？残雪をかき分けて新芽を出す草花、心なしか桜の枝先も少しふっくらしたような気がします。ちなみに行きつけのパン屋さんも桜あなぱんの販売が始まりました♪もうすぐ春ですね (´ω`)桜*。°.:

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第130号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第19回 下水道新技術研究発表会（大阪会場 2/7、東京会場 2/14）を開催しました
- ・2/14(金)に水処理技術共同研究委員会を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、2/28(金)にリアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究委員会を開催します

■Tea Break

- ・球春到来（ペンネーム 技術評価部：狗鷲戦士応援隊さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、水郷会の淀千さんから投稿をいただきました！水郷会とは？

■国からの情報

- ・2/21付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

●第19回 下水道新技術研究発表会（大阪会場 2月7日、東京会場 2月14日、）を開催しました。

大阪会場は大阪市西区大阪科学技術センター、東京会場は東京都港区の発明会館で行われました。東京開催の2月14日は、開催そのものが危ぶまれほどの大雪で、申し込みいただいた方の参加率は低かったものの両会場合わせて約150名の方が出席されました。

今回は国土交通省下水道部の増田下水道事業課長（大阪会場）・加藤流域管理官（東京会場）、東京大学大気海洋研究所木本副所長・教授を特別ゲストとしてお招きしました。最新のホットな情報として、増田下水道事業課長と加藤流域管理官からは「下水道をめぐる最近の話題」と題し、平成 25 年度補正予算、平成 26 年度予算および

国
土交通省における主要取り組み事項を、また木本教授からは「気候変動の将来予測とリスクについて」と題し、昨年 9 月に温暖化は人間が引き起こしたとほぼ断定した気候

変動に関する政府間パネル第 5 次評価報告書第 1 次作業部会報告書のポイントについて、

ご講演いただくとともに、当機構からは各研究部長が、今年度の主要テーマについて、研究成果を発表いたしました。

今回の特別ゲストによる講演ダイジェストは 7 月に発行を予定している「下水道機構情報」に掲載を予定しています。

●2/14(金)に平成 25 年度第 3 回水処理技術共同研究委員会を開催しました

議題は「活性汚泥法等の省エネルギー化技術に関する共同研究」です。

当共同研究は、本年度新規の案件であり、省エネ技術に関して追加された実証試験結果についての報告を行いました。また、マニュアル案を査読いただいた結果を報告し、ご意見をいただきました。委員会での審議は今回が最後であり、技術マニュアルを本年度末に発刊の予定です。

今回の議事内容は 3 月上旬の技術委員会で報告する予定です。

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成 26 年 2 月 28 日(金)13:00~15:00

行 事：平成 25 年度第 2 回 リアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究
委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：X バンド MP レーダ情報利活用に関する共同研究の審議

○平成 26 年 3 月 5 日(水)13:30~15:30

行 事：平成 25 年度第 2 回 高度処理ナレッジ創造戦略会議

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：運転管理のノウハウ、事例報告、その他

○平成 26 年 3 月 6 日(木)13:30~16:30

行 事：平成 25 年度第 3 回 技術委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

内 容：各委員会の調査研究報告についての審議、その他

○平成 26 年 3 月 7 日(金)13:30~16:30

行 事 : 平成 25 年度審査証明交付式

場 所 : 機構 8 階 中会議室

内 容 : 平成 25 年度 建設技術審査証明(下水道技術) 審査証明書の交付

○平成 26 年 3 月 13 日(木)17:00~18:00

行 事 : 第 324 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道研究官 森田 弘昭 氏

テーマ : 「ベトナムにおける推進工法の普及について」

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●球春到来(ペンネーム 技術評価部: 狗鷲戦士応援隊さんからの投稿です)

ソチ五輪が盛り上がっている中、先日久米島まで春季キャンプの見学に行ってきました。

大記録を樹立したエースはいなくなりましたが、ドラフト1位入団で注目を浴びている新人選手のお陰で取材陣は大賑わい。テレビでお馴染みの野球解説者にも数名遭遇しました。

そんな取材陣よりも選手よりも先回りしてグラウンド入りし、最後までグラウンドに残っていたのは用具係さんでした。野球といえば選手ばかりが注目されがちですが、選手がスケジュール通りの練習をこなすには用具係さんをはじめ、多くの裏方さんの支えがあるからなのですね。

そういえば昨シーズン日本シリーズを制した時、選手達が用具係さんの名前を大声で呼んで胴上げをしていました。練習や試合の勝ち負けはもちろん大事ですが、そういった気持ちと一体感を大切に今年も夢を見させて欲しいなと思います。

久米島キャンプと言えば、その年の新人選手が泡盛の工場を見学して、「勝利の壺」なるものに入れている古酒があるのですが、初年度に詰めた9年物の壺は昨年の優勝で開封したのでしょうか。今年のペナントレースの行方同様、その壺の行方も非常に気になる春季キャンプでした。

。○○。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

。○○。

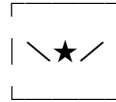
●機構では、「水郷会」という俳句の会があります。今回は、水郷会の淀千さんから投稿をいただきました!

淀千さんご投稿ありがとうございました！

★詳しくはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/yuimaru2014-2-24>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2014. 2. 21 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



今週水曜日、第 5 回目となります下水道政策研究委員会が開催されました。会議資料を HP に掲載しました（議事概要は、今後掲載予定）。ポイントは、資料 3-2 の 1 枚目、2 枚目のイラストです！？いかがでしょうか。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000307.html

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

●インドネシア国ジャカルタ特別州の下水道調査を受注（15 件目の水ビジネス案件）～自治体として北九州市が初めて参画～【北九州市】

●第 1 回持続的リン利用シンポジウムの開催について

【リン資源リサイクル推進協議会】

●研究集会「未来の下水道システムを探索する」－活性汚泥法誕生百年記念－

【NPO 21 世紀水倶楽部】

=====

●インドネシア国ジャカルタ特別州の下水道調査を受注（15 件目の水ビジネス案件）～自治体として北九州市が初めて参画～【北九州市】

北九州市上下水道局と民間企業の共同企業体（JV）は、（独）国際協力機構

（JICA）発注の「ジャカルタ特別州下水道整備事業に係る補完調査」へ応募し、採択されました。（上下水道局は、下水道分野で初の JV 参画）。

北九州市としては、本調査を足がかりに、インドネシア国ジャカルタ首都圏のイン

フラ整備重点プロジェクト（フラッグシップ・プロジェクト）の一つに位置づけられた約500億円規模（対象人口：約120万人）と見込まれる下水処理場整備事業の官民連携での受注を目指します。詳細について下記HPをご覧ください。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/suidou/26201034.html>

●第1回持続的リン利用シンポジウムの開催について

【リン資源リサイクル推進協議会】

リンは、再生可能な資源であるバイオマスの生産に必要な肥料元素であり、安全・安心な食糧生産、様々な工業製品の原料や製造工程における利用等、わが国の多様な産業において必須な資源です。しかし、わが国はほぼ100%を輸入に頼っており、人口増加に伴う世界的な肥料需要増加や原料となるリン鉱石産出国の偏在など戦略物質になりつつあり、世界的にも持続的な利用が危惧されています。

世界のすべての人々が安心して食糧調達できるためには、その生産に使われる肥料が安価に調達できる必要があります。

本シンポジウムでは、わが国のみならず、世界における食糧安全保障の観点からも、地球規模での持続的なリン利用について情報や認識の共有と意見交換を行います。リン資源に関わる方はもちろん、普段無意識にリン資源の恩恵を享受しながらあまり知らない方も含めて、幅広い多くの方にご参加いただければと思います。

・日時：3月10日（月）9：30～17：00

・場所：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

・参加登録方法：ご氏名・ご所属・メールアドレスを明記の上、下記アドレスへメールをお送り下さい。

事前登録専用メールアドレス：sympo2014@bio.eng.osaka-u.ac.jp

・プログラム等、詳細は下記をご覧ください。

http://jora.smallworld.jp/press/jora_pdf_files/201311211512.pdf

●研究集会「未来の下水道システムを探索する」－活性汚泥法誕生百年記念－

【NPO21世紀水倶楽部】

活性汚泥法が英国で発明され、ちょうど百年になります。百年前の1914年は大正3年、第一次世界大戦が始まる直前で、無線通信はありましたがテレビどころかラジオもまだありませんでした。

活性汚泥法は、いまや家庭排水を処理するだけでなく、工場排水処理などにも範囲を広げ世界中で広く使われています。我が国では、全国の2千百カ所の下水処理場で全下水量の99%を処理していて、これほど優れた存在のプロセスはないと考えられます。

発明されて百年たったことを記念して、長期的な将来、どういう姿になるのか、難しい課題ですが、新進気鋭の研究者の方々に、下水道、下水処理の将来の夢を語っていただくという企画です。

30～100年先という現代技術の外挿線を離れたものを模索できることが期待されますが、近い将来のことも含め柔軟に議論が活発に進むようにしたいと考えます。

・日時：4月10日（木）14：00～17：00 過ぎ

・会場：砂防会館別館（シェーンバッハ・サボ一）3階立山会議室

- ・参加人員：50名（申し込み先着順、定員になり次第締め切らせていただきます）
- ・申込方法：NPO 21世紀水倶楽部ホームページ（下記）参加登録フォームから
- ・問い合わせ：E-mail：sympo-info@21water.jp、Tel：03-3980-4567

<http://www.21water.jp/>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「下水熱利用による低炭素まちづくりシンポジウム」の参加者募集について

【下水道企画課】

（3月11日開催、参加者募集は3月4日まで）

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000232.html

→2月14日掲載

■下水道事業における公共施設運営事業等の実施に関するガイドライン（案）に関する意見の募集について【下水道企画課】

（2月24日まで）。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000231.html

→2月14日掲載

■2014年度 新・未来プロジェクトメンバー募集について【EICA】

（3月10日まで）

<http://eica.jp/>

→2月14日掲載

■「防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～」の開催について

【国土技術政策総合研究所・土木研究所】

（3月19日開催）

<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/kisya/journal/kisya20140207.pdf>

→2月7日掲載

■第21回下水道循環のみちセミナー「循環のみち、JSの最近の取組み」の開催について【日本下水道施設業協会】

（3月3日開催）

<http://www.siset.or.jp/>

→2月7日掲載

=====

【参考情報】

◆海を汚さぬトンネル竣工<2/14 タウンニュース>

<http://www.townnews.co.jp/0603/2014/02/14/225188.html>

◆メタウォーター、上下水道インフラの運営規模 2.5 倍に<2/18 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD180TC_Y4A210C1TJ2000/

◆NEC、下水道管路長寿命化へ管理システムの実地試験を日本下水道事業団と実施<2/18 日経 BP>

<http://business.nikkeibp.co.jp/article/emf/20140218/259898/>

◆雨水をためる仕組み紹介 姫路・増位小で治水講座<2/18 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/himeji/201402/0006716457.shtml>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→<http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140116/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>
